

T A C 税理士講座

初学者のための

税 法 理 論 暗 記 セ ミ ナ ー



資格の学校
TAC

— CONTENTS —

- 1 はじめに…1
- 2 税法科目における本試験の出題傾向…2
- 3 そもそも何のために理論を暗記するの？…4
- 4 各理論の最終目標と段階を意識する…5
- 5 理論暗記の方法…7
- 6 各レベルにおいて暗記方法を使い分ける…10
- 7 理論の解答方法…19
- 8 終わりに…21

1 はじめに

会計科目から税法科目に進めると、いよいよ“税の専門家”の勉強に入ることができて、なんだか少し嬉しくなるものです。ところが、目の前に立ちはだかる大きな壁が「理論学習」。問われたことに答える、という点では財務諸表論のそれと変わらないものの、学習方法はがらりと変わり、理論集の暗記、という作業が始まります。今のこのご時世に、と思うものの、覚えられないことには合格できません。さて、困った…。

そもそも、初めての税法ということでは、理論の出題傾向も分からない方が多いのではないのでしょうか。

孫子という書物に下記のような有名な言葉があります。

彼を知り己を知れば百戦殆からず。

今の現状は、彼も知らず己も知らない状態なのではないのでしょうか。これでは、どこから何をすれば良いのか分かりません。

税法では、租税法律主義に基づき、理論の解答を条文に求めることとなり、結果的に条文を覚えることで解答の可能性が広がり、また同じ文章であれば速く書ければ書けるほど、計算問題に充てる時間が増えるので、合格がより近づいてきます。

本セミナーは、そのような、初めての税法理論学習に取り組む皆さんを応援する、ビタミン剤のような講座です。

暗記に対する抵抗感、苦手意識を克服すべく、どのようにすれば理論暗記がスムーズにできるようになるのか、その方法についてご紹介します。



一緒に頑張ろう！

2 税法科目における本試験の出題理論傾向

1 税法科目の本試験における理論の出題の大まかな分類

それではまず、「彼」の部分である税法における理論の出題傾向を確認しましょう。

科目によって細かいところは異なりますが、大きく分けると下記の3つに区分されます。

- (1) 個別問題
- (2) 応用問題
- (3) 事例問題

それでは、傾向毎に内容を確認していきましょう。

2 個別問題とは？

個別問題とは、ある規定について直接問われる問題で理論をそのまま解答する形式です。

問題例(令和4年度所得税法本試験より)》

《解答例(TAC 解答速報より)》

純損失の繰戻しによる還付請求について、
制度の概要(適用要件及び還付請求をする際
の手續を含む。)を説明しなさい。

なお、解答に当たっては、事業の廃止があつ
た場合の還付請求についても説明すること。

1 一般の場合

(1) 青色申告者は、その年において生じた純損失の
金額(一定の居住用財産の譲渡損失の特例に規定
する特定純損失の金額を除く。以下同じ。)がある
場合には、その申告書の提出と同時に、納税地の
所轄税務署長に対し、(2)の還付税額に相当する所
得税(前年分の所得税額を限度とする。)の還付を
請求することができる。

(2) 還付税額

①の金額から……

3 応用問題とは？

応用問題とは、与えられたテーマに基づき複数の理論を組み合わせて回答する形式です。

問題例(令和2年度消費税法本試験より抜粋)》

《解答例(TAC 解答速報より)》

課税仕入れ等に関する諸事項が記載され
た帳簿及び請求書等を保存している場合で
あっても、消費税法において仕入税額控除
を受けるための規定が適用されない場合に
ついて述べなさい。

帳簿及び請求書等を保存している場合であって
も仕入税額控除を受けるための規定が適用されな
い場合とは、次の場合である。

- ① 事業者が国内において居住用賃貸建物にか
かわる課税仕入れ等を行った場合
- ② 課税仕入れに係る資産が金又は白金の地金
である場合に限り、その相手方の本人確認書類
を保存しない場合
- ③ 課税仕入れに係る……

4 事例問題とは？

事例問題とは、法令の根拠を基に、与えられた事例に対して解答する形式です。

問題例(令和4年度相続税法本試験より抜粋)》

《解答例(TAC 解答速報より)》

子Bは、平成30年5月に、父Yから非上場会社の株式の贈与(1,000株。贈与時の時価は1株当たり5万円)を受け、非上場株式等についての贈与税の納税猶予及び免除の特例(租税特別措置法第70条の7の5)の適用を受けた。父Yは、特例経営贈与承継期間の経過後に死亡した(当該株式の相続開始時の時価は1株当たり10万円)。

- (1) 上記の特例の趣旨と概要について、簡潔に説明しなさい。
- (2) 父Yが死亡した場合における、上記の特例の適用を受けた上記の株式に係る贈与税及び相続税の課税上の取扱いについて、関連する条文に触れつつ説明しなさい。

(1) 租税特別措置法第70条の7の5の趣旨と概要

① 趣旨

事業承継の円滑化を図るために設けられた非上場株式等についての納税猶予制度に関し、特に中小企業の円滑な世代交代を集中的に促進し、生産性向上に資する観点から、10年間の特例措置として、抜本的に拡充されたものである。

② 概要(措法70の7の5①)

特例認定贈与承継会社の……

(2) 特例の適用を受けた株式に係る贈与税及び相続税の課税上の取扱い

① 取扱い

贈与者の父Yが死亡したため、株式に係る贈与税は免除される。

また、贈与を受けた株式は、贈与時の時価5,000万円(5万円×1,000株)で相続税の課税価格の計算の基礎に算入される。

② 関連する条文

イ 納税猶予額の……

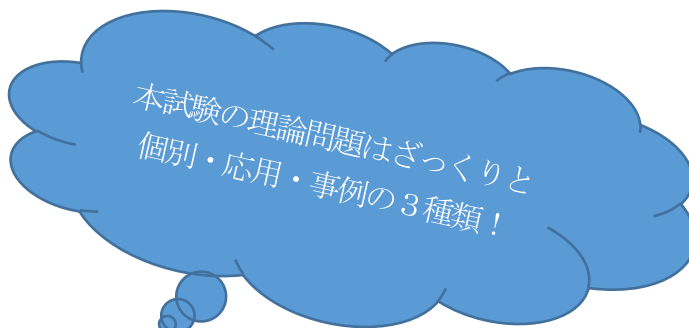
5 ではなぜ理論暗記が必要なのか？

さて、上記のように本試験における理論の出題傾向は分かりました。

しかし、上記のいずれの出題傾向においても、書き出すべき理論の内容を把握していなければ解答することはできません。

そのため、税理士試験の理論問題に対応するためには、理論暗記が必要となるのです。

それでは、次のテーマで理論暗記の実際の内容を確認していきましょう。



3 そもそも何のために理論を暗記するの？

1 改めて、理論暗記の目的や最終目標を明確にする。

さて、上記のように「彼」の部分である税理士試験の本試験の理論の出題傾向は分かりました。

それでは、これから早速理論暗記を始めることとなりますが、まずは改めて理論暗記の目的と理論暗記の最終目標を確認していきましょう。

2 理論暗記の目的

理論暗記の目的は「**税理士試験の理論問題を解答すること**」になります。

3 理論暗記の最終目標

理論暗記の最終目標は、「**理論マスターの暗記**」になります。



この1冊を暗記する

4 目的と照らし合わせると全ての理論の最終目標は同じではない

さて、上記の「目的」を鑑みると、最終目標である「理論マスターの暗記」を「全ての理論を完璧に暗記する」と定義すると、些か疑問点が生じます。

なぜならば、目的を極論で言ってしまうと「税理士試験で出題される理論のみ暗記する」ことができれば目的を達成できるからです。

そのため、最終目標である「理論マスターの暗記」を更に細分化すると、各理論における最終的な暗記内容は異なります。

4 各理論の最終目標と段階を意識する

1 全ての理論の最終目標は同じではない。理論毎に重要度や優先度は異なる

さて、上記のとおり理論暗記の最終目標は「税理士試験の理論問題を解答すること」であることが分かりました。

極論でいえば税理士試験に出題される理論を暗記すれば良いことになります。

ただ、税理士試験の理論問題が事前にわかる訳ではありません。そうなれば、結局全部覚えるしかないんじゃないか……そう思うかもしれません。

しかし、理論の中でも重要度は異なります。

そのため、理論暗記では、各理論の重要度に応じて暗記の最終目標を確認することが大切になります。

2 各理論の最終目標を設定する

「暗記」のレベルを簡単に分けると以下のようなものになります。

暗記レベル	対応力
暗記レベル5	理論マスターのとおり空読み することができる。
暗記レベル4	理論マスターのとおり書くことができる
暗記レベル3	キーワードを漏れなく記載した文章を 作文で書くことができる
暗記レベル2	キーワードは抜けるがふんわりと 文章を書くことはできる
暗記レベル1	全く書くことができない

全ての理論を暗記レベル4、5にする必要はなく、重要度に応じて暗記レベル2、3でも本試験では対応が可能です。

そのため、理論の重要度に応じてどこの暗記レベルを最終目標にするか設定することが大切になります。



理論マスター1冊の中
でも各理論の暗記の
最終目標は異なる！！

3 重要度別の各理論の最終目的例

暗記レベル	対応力	重要度別の最終目標
暗記レベル5	理論マスターのとおり空読み することができる。	ランクAのうち 最重要理論
暗記レベル4	理論マスターのとおり書くこ とができる	ランクA及びBのうち 重要理論
暗記レベル3	キーワードを漏れなく記載した 文章を作文で書くことができる	ランクB
暗記レベル2	キーワードは抜けるがふんわり と文章を書くことはできる	ランクC
暗記レベル1	全く書くことができない	昨年出題されたもので 上記以外の理論など

充てられる勉強時間や大切だと思う理論を検討しながら、大まかな理論毎の最終目標を決めましょう。

4 いきなり最終目標に到達しようとしなくていいことの大切さ

理論暗記を行う際によく見受けられる内容として、いきなりその理論の最終目標に達成しようとするのが挙げられます。

例えば、ランクAの最重要理論を9月の段階で暗記レベル5にするために暗記に取り組むといったことが挙げられます。

しかし、いきなり最終目標に達成することはできません。将棋でいきなり王を取れないように、いきなり最終目標に到達はできません。

暗記レベルは少しずつ上げていく必要があります。

そのため、各理論の暗記レベルを設定したら、どの時期にどのレベルまでできるようになっていくか、中間目標をざっくりと確認していきましょう。

それでは、その暗記を行うための暗記方法にはどんなものがあるのでしょうか。



5 理論暗記の方法

1 理論暗記の方法

理論暗記の方法はいくつかありますが、そのうち代表的なものを紹介します。

2 理論を書いて覚える

とにかく理論を紙に書き出して覚える方法。定番の暗記方法の1つです。

3 パソコンを使って覚える

上記の書いて覚える方法を紙ではなくパソコンに打ち出して覚える方法です。
紙に書き出すのに比較して、時間的負担と腕に対する負担が少なくなります。

4 理論を読んで覚える

理論を読み上げて覚える方法。こちらも定番の暗記方法の1つですね。

5 スマホを使って覚える

(1) 概要

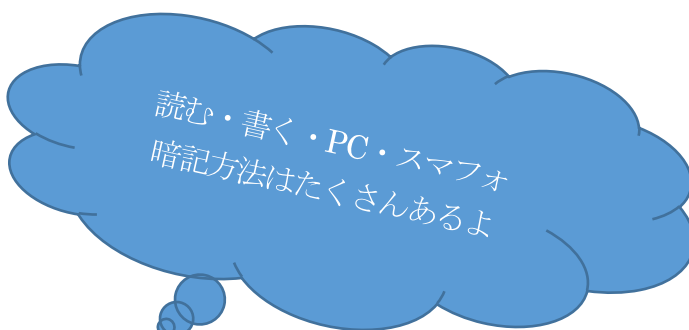
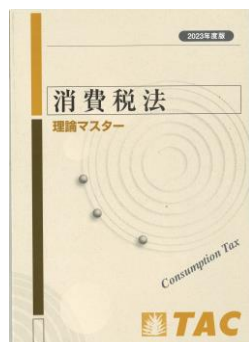
スマホにある写真の機能やメモ機能を使用して覚える方法。

(2) 内容

覚えたいページをスマホ等で写真に撮影してデータにした後、その写真を確認して一瞬で覚えた後にメモ帳に書き出すことでインプットとアウトプットを行います。

覚えているところを書き出せたら再度写真を確認し、残りの部分の暗記・書き出しを繰り返して1題を終わらせて次に進みます。

スマホがあれば出来るため、通勤電車や信号待ちなどのちょっとした時間でどこでもできる暗記方法です。



6 フラッシュトレーニングで覚える

(1) 概要

写真的記憶術・映像記憶法などとも呼ばれる方法。

理論マスターを文字で覚えるのではなく、画像で覚える方法です。

イメージとしては、Word ではなく JPG のような画像として暗記し、その画像ファイルを思い出すことで詳細を暗記する方法になります。

(2) やり方

暗記したいページを見つめ、目を閉じます。目を閉じたら瞼の裏に先程のページを思い浮かべて思い出し瞼の裏に焼き付けます。

もう1度目を開け、再度ページを見て焼き付けた画像と一致させます。

これを1セットとし、1セット数秒で数回繰り返します。

また、この方法とその他の暗記方法を組み合わせ、一瞬で覚えてその覚えたものを言葉で発したりスマホ等で書き出すとアウトプットも兼ねて効果的です。

7 理論暗記をいつ行うかを決める。

上記のような暗記方法が確認できました。それでは、上記の方法は日常の中でどのタイミングで行えばよいのでしょうか。

理論暗記を行う際には、「暗記できる時間、場所、方法」を見つけることが必要となります。これは自身の生活リズム等にもよるため、自分にあった方法等を見出すことが大切。

また、暗記方法はどれか1つだけではなく、時間や場所によって使い分けるのも効果的です。

下記の例を参考に、1週間の学習スケジュールの中で、理論暗記に充てる時間を探してみましょう。

時間	場所	暗記方法
起床～出勤	自宅	読んで覚える、書いて覚える
通勤・通学中	電車内など	スマホで覚える
休憩時間中	会社内、公園など	読んで覚える、スマホで覚える
帰宅中	電車内など	スマホで覚える
帰宅後～就寝まで	自宅など	読んで覚える、書いて覚える
帰宅前・休みの日	自宅、自習室など	読んで覚える、書いて覚える

8 じゃあどの暗記方法がしいいの？

上記のような暗記方法がありますが、よく受ける質問として「どの暗記方法が良いのか？」というものがあります。

暗記方法については、常にどれか1つの方法で行うのではなく、自分の暗記レベルに応じて、次の暗記レベルに到達するためにはどの方法を使用するかを確認することが大切になります。

それでは、どの暗記レベルにどんな方法を使用していくのがいいのでしょうか。

また、各暗記方法を使用する際に、どのように覚えるかについては付録に記載するので、参考にして下さい。



自分に合った暗記方法と
時間・場所を見つけよう！

6 各レベルにおいて暗記方法を使い分ける

1 理論暗記における各ステージを意識して暗記を進める。

上記のように理論の暗記方法がいくつかあることが分かりました。

どれか1つの暗記方法を使用して暗記するのではなく、各暗記レベルに応じて暗記方法を使い分けていくことが大切になります。

2 自分の中で「どの時期に」「どの暗記方法で」「どれだけ覚えるのか」を決める

先程、理論の中でも暗記の最終目標は異なるという話をしました。

それと同じように、時期によって各暗記の暗記レベルは異なることになります。

理論暗記はいきなり最終目標に達することができないため、どの時期にどの暗記方法でどのレベルに到達するようにするのか検討することが大切になります。

暗記レベルに応じて、暗記方法を使い分けて効果的に暗記を進めていきましょう。

3 時期と暗記方法の例

(1) ランクAのうち最重要理論の場合

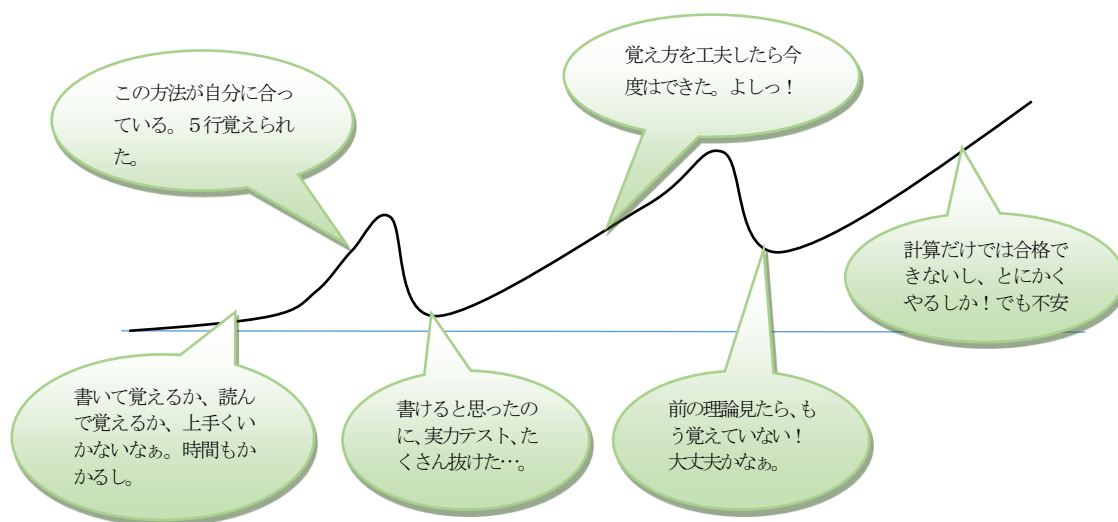
暗記レベル	対応力	次のレベルに到達する 暗記方法	到達する 時期
暗記レベル5	理論マスターのとおり空 読みすることができる。	読んで覚える	7月
暗記レベル4	理論マスターのとおり書 くことができる	読んで覚える パソコンを使って覚える	5月
暗記レベル3	キーワードを漏れなく記 載した文章を作文で書く ことができる	書いて覚える パソコンを使って覚える	3月
暗記レベル2	キーワードは抜けるがふ んわりと文章を書くこと はできる	読んで覚える スマホを使って覚える	12月
暗記レベル1	全く書くことができない	読んで覚える	9月

(2) ランクBの場合

暗記レベル	対応力	次のレベルに到達する 暗記方法	到達する 時期
暗記レベル5	理論マスターのとおり空 読みすることができる。		
暗記レベル4	理論マスターのとおり書 くことができる		
暗記レベル3	キーワードを漏れなく記 載した文章を作文で書く ことができる	読んで覚える パソコンを使って覚える	7月
暗記レベル2	キーワードは抜けるがふ んわりと文章を書くこと はできる	読んで覚える 書いて覚える スマホを使って覚える	6月
暗記レベル1	全く書くことができない	読んで覚える	3月

3 繰り返しの重要性

上記のような方法で理論を覚えたが、時間が経ったら忘れてしまう……皆さんには以下の
ような葛藤があるのではないのでしょうか。



理論暗記は、一度高いレベルに達しても案外すぐにレベルダウンしてしまいます。

しかし、それは無駄なことではありません。何度もレベルアップとレベルダウンを繰り返すことで、より根強い定着に繋がります。

更に、勉強方法が確立できれば怖いものはありません。理論暗記を繰り返し、自分に合った勉強方法を確立していきましょう！

4 理論暗記はメリハリをつける

理論暗記については、常に同じような雰囲気ではなく、メリハリをつけて覚えましょう。

「これくらいの時期に一気に理論レベル全体を引き上げる！」という時期を設定し、その期間前になったら、一気に理論暗記を進めて荒削りでも一時的に暗記を達成させることで、その後の定着に繋がります。

ずっと同じような理論暗記のペースでは疲れたりだれたりしてしまいます。ガチ暗記をする時期を決めて、その時期に一気に追い込みをかけましょう。



《付 録》

I 内容を理解するステップ

税法の理論は丸暗記、と言われますが、ただやみくもに覚えようとするのではなく、ある程度内容を理解してから、つまり、文章を文字情報ではなく、意味のある文章のつながりとして覚えようとすることで、暗記効果ははるかに高くなります。

まずは、条文に書かれている内容をつかむことから始めましょう。

【ステップ1】タイトル（解答の柱）をチェックする。

理論を暗記する際、まず、その論点の中に含まれている規定をタイトル（＝解答の柱）で確認して、その論点がどのような規定で構成されているか、をチェックします。

《具体例》 所得税法理論マスター3-10 同一生計が事業が事業から受ける対価

- 1 原則的取扱い
 - (1) 事業主の取り扱い
 - (2) 親族の取り扱い
- 2 青色事業専従者給与
 - (1) 内容
 - (2) 届出書の提出
- 3 事業専従者控除
 - (1) 内容
 - (2) 申告要件
- 4 青色事業専従者の判定

【ステップ2】前提・結論等の内容をチェックする。

次に個々の規定の内容を見ていきますが、規定の中には一文がかなり長いものもあり、頭から読んだだけでは理解しづらい場合がありますので、以下の項目をチェックし、各条文の構成を理解します。理論の構造を理解することは、理論の内容を理解することにつながります。

なお、前提の区切りや結論、キーワードや間違えやすい箇所など、暗記作業を始める前にチェックした部分は、マーカーなどで印をつけると、覚えやすくなります。

Point 1 前提（適用要件）をチェックする

通常、規定には前提がおかれていますので、それをチェックします。言い回しは規定によって多少異なることがあります、ほとんどは以下の2パターンに分けられます。

- | | |
|-----------------|---------------------|
| ① 前提が1つの場合 | イ ～の場合には
ロ ～のときは |
| ② 前提が2つの場合 | |
| ～の場合において、…のときは、 | |

《具体例》相続税法 理論マスター2-1、2-3 生命保険金等

（相続又は遺贈により取得したものとみなす場合）

被相続人の死亡により相続人その他の者が生命保険契約の保険金又は損害保険契約の保険金（…）を取得した場合においては、…

（贈与により取得したものとみなす場合）

生命保険契約の保険事故（…）又は損害保険契約の保険事故（…）が発生した場合において、保険料の全部又は一部が保険金受取人以外の者によって負担されたものであるときは、

Point 2 結論をチェックする

理論暗記の上で、最も重要な部分です。例えば「納税義務がある」と書くべきところを「納税義務がない」と書いてしまったら意味は真逆。それまで何行解答しようとも結論が間違っている訳ですから、その解答は0点です。特に慎重にチェックしましょう。

また、次のような語尾の言い回しを間違えると、0点ではありませんが減点の対象です。とにかく、結論は大事！

- | | |
|---|-----------------|
| { | ～しなければならない…義務規定 |
| | ～できる …任意規定 |

- | | |
|---|---|
| { | ～とする……本来そのように取り扱っておかしくないものにつき、制度としてそのように決める場合に用いる |
| | ～とみなす…本来そうでないものにつき、擬制的にそのように取り扱う場合に用いる |

《具体例》消費税法 理論マスター1-1 国内取引の課税の対象

② ②ロ 資産の譲渡等（土地収用法等）

土地収用法等に基づいて所有権等を収用され、権利取得者から補償金を取得した場合には、対価を得て資産の譲渡を行ったものとする。

④ みなし譲渡

次の行為は、事業として対価を得て行われた資産の譲渡とみなす。

Point 3 その他チェックしておきたいもの

(1) キーワード（税法用語）

理論を何題か覚えていると、以前覚えた理論と同じ用語が用いられていることがあります。それが「キーワード（税法用語）」です。条文の中で何らかの形で定義された、意味のある1まとまりの用語をキーワード（税法用語）として、そのまとまりごとにチェックをすることで、規定の内容を理解しやすく、文章が頭の中に入りやすくなります。また、答案そのものの完成度も上がり、印象がよくなります。

※ キーワードの見つけ方

- ① 理論集に「定義」「用語の意義」として掲載されているもの
- ② 理論集の文章中、注書きやカッコ書き（「〇〇（…をいう。）」）、「〇〇とは、…」と補足説明されているもの
- ③ その他、複数の理論でよく用いられている、まとまりのある言葉

(2) 接続詞、指示語

- ① 日常用いられる接続詞も、その位置づけを理解しておく、文章の内容理解につながります。

「又は」「若しくは」…英語では「or」の意味ですが、「又は」の方が大きな接続に使います。

「及び」「並びに」……英語では「and」の意味ですが、「並びに」の方が大きな接続に使います。

《具体例》 消費税法 理論マスター1-1 資産の譲渡等の意義

事業として対価を得て行われる資産の譲渡及び貸付け並びに役務の提供をいう。

資産の譲渡、
資産の貸付け、 } + 役務の提供

- ② 「〇〇で、～もの」…この「もの」は「で」の前の名詞「〇〇」を指します。

《具体例》 相続税法 理論マスター1-1 相続税の居住無制限納税義務者

相続又は遺贈により財産を取得した次の者でその財産を取得した時において法施行地に住所を有するもの

(3) 基準をあらわす用語

「以上」「以下」「超」「未満」といった基準値を表す言葉や、「経過する日」「経過した日」「翌課税期間」「2年前の日の前日」「課税期間の末日の翌日」といった基準日をあらわす言葉は、一円あるいは一日ズレるだけで大きく取扱いが変わるところですので、チェックしておく必要があります。

Point 4 計算との関連づけ

手続規定は別として、規定の内容などについては計算の内容と関連づけることも内容理解に役立ちます。そうすれば単なる文章が色づけられて各論点のイメージが湧きやすく、理論の定着が図りやすくなります。また、事例問題などにも役に立ちます。

さて、ここで基本作業をまとめてみましょう。

《具体例》法人税法 理論マスター6-10 中小企業者等の少額減価償却資産の特例

青色申告書を提出する中小企業者等(常時使用する従業員数が500人以下の法人に限る。)が取得等し、
基準値
事業の用に供した減価償却資産で、
基準値
その取得価額が30万円未満であるもの(取得価額が10万円未満である
基準値
もの)及びその他一定のものを除く。以下「少額減価償却資産」という。)を有する場合において、
前提1
「で」の前の「減価償却資産」をさす
その取得価額相当額につき、
前提2
その事業の用に供した日の属する事業年度に損金経理をしたときは、
その損金経理をした金額は、
結論
その事業年度の損金の額に算入する。
(注) その事業年度の少額減価償却資産の取得価額の合計額が / 年300万円を超えるときは、
基準値
その取得価額の合計額のうち / 年300万円に達するまでの少額減価償却資産の取得価額の合計額を / 限度とする。
基準値

※ 部分はキーワード、「/」部分が文章の区切りです。

Ⅱ 暗記作業を進めるステップ

【ステップ3】条文を暗記する。

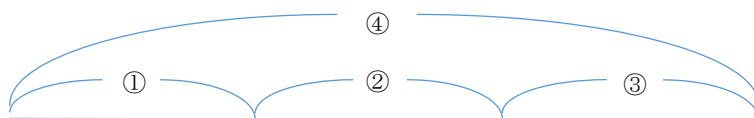
暗記の基本作業が終了したら、いよいよ暗記です。覚える理論の内容を大づかみしているので、ひたすらに暗記をすすめているつもりでも、ただやみくもに覚えている、ということにはならなくなっていますので、ただひたすらに覚えることを考えましょう。

よく、「理解してから暗記しようとするとなかなか暗記をはじめられない」という声を聞きますが、まずは基本作業で十分です。何度も覚えているうちに理解が深まり、計算項目であれば計算を繰り返すうちに理解が深まる側面もありますから、悩む前に行動してみましょう。

ここで、文章の長いものは、次のような方法で覚えてみてはいかがでしょうか。

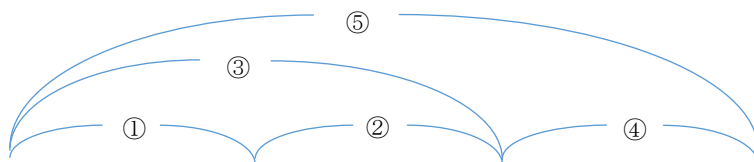
(1) 一文をいくつかに区切って暗記する方法

【パターン1】



①を覚える → ②を覚える → ③を覚える → ①～③を通して覚える (④)

【パターン2】



①を覚える → ②を覚える → ①②を通して覚える(③) → ④を覚える → ①②④を通して覚える(⑤)

この、文章の区切り方も、いくつか考えられます。

《具体例》 消費税法 理論マスター2-1 1(2)低額譲渡

法人が資産をその役員に譲渡した場合において、対価の額が譲渡時の資産の価額に比し著しく低いときは、その価額に相当する金額を対価の額とみなす。

《その1》内容の異なるごと（前提、結論など）に区切る方法

法人が / ←主語

資産をその役員に譲渡した場合において、 / ←前提1

対価の額が譲渡時の資産の価額に比し著しく低いときは、 / ←前提2

その価額に相当する金額を対価の額とみなす。 ←結論

《その2》文章の区切りのよいところ（文節など）で区切る方法

法人が /

資産を / その役員に / 譲渡した場合において、 /

対価の額が / 譲渡時の資産の価額に比し / 著しく低いときは、 /

その価額に相当する金額を / 対価の額とみなす。

(2) 文章の骨格となる部分をまず覚え、後から修飾部分を補う方法

「カッコ書き」「注書き」「…で～もの」といった表現で修飾される部分を、最初は飛ばして骨格となる部分を覚え、後から挿入する形で覚える方法です。

結論がしっかりと押さえられるので内容を理解しやすく、結論を間違える、といった大失点を防ぐことができます。

《具体例》所得税法 理論マスター7-1 平均課税

(理論マスター)

居住者のその年分の変動所得の金額及び臨時所得の金額の合計額（その年分の変動所得の金額が前年分及び前々年分の変動所得の金額の合計額の2分の1以下である場合には、その年分の臨時所得の金額）がその年分の総所得金額の20%以上である場合には、その年分の課税総所得金額に対する所得税額は、平均課税の方法によることができる。



(分解してみると)

居住者のその年分の変動所得の金額及び臨時所得の金額の合計額がその年分の総所得金額の20%以上である場合には、その年分の課税総所得金額に対する所得税額は、平均課税の方法によることができる。

(その年分の変動所得の金額が前年分及び前々年分の変動所得の金額の合計額の2分の1以下である場合には、
その年分の臨時所得の金額)

【ステップ4】暗記した理論を定着させる。

一度覚えた理論も、時間がたてば忘れてしまうものです。定着には繰り返しが最良です。

7 理論の解答方法

理論暗記は、合格答案を作成するために行うものです。せっかく覚えた理論ですから、なるべくマルをもらいやすい答案を心掛けたいものです。何も美文字である必要はありません。限られた時間の中で解答する訳ですから、多少文字が乱雑になってしまっても致し方ありません。では、どの程度の答案であれば読みやすい、マルをもらいやすい答案なのでしょうか。

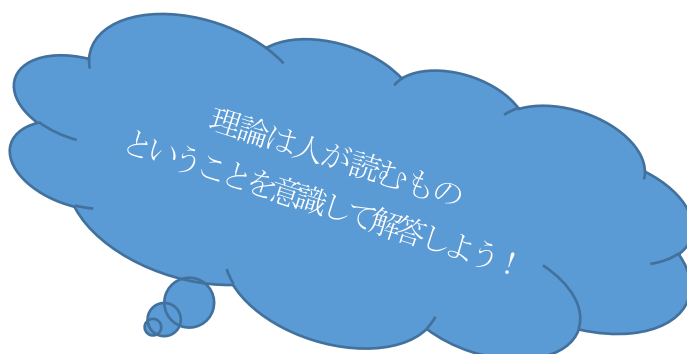
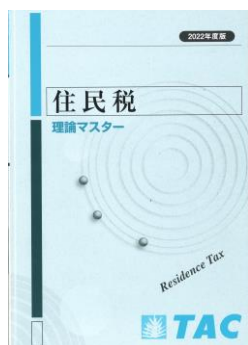
《Point》

- ① 段落やタイトルを設けており、見やすい
- ② 条文（理論集）に沿った解答ができています。
- ③ 訂正していても読みやすい。

なお、合格答案を作成する最大のポイントは「心」です。採点は人が行うもの。「自分の答案を読んでください！成果をみてください」という気持ちを込めて書くことで、自然と読みやすい答案ができるものです。

具体例 法人税法第22条「益金の額」について（法人税法 理論マスター2-1）

1 益金の額	益金
内国法人の各事業年度の所得の金額の計算上その事業年度の 損金 の額に算入すべき金額	
は、別段の定めのあるものを除き、資産の販売、有償又は無償による資産の譲渡又は役務	
の提供、無償による資産の譲受けその他の取引で資本等取引以外のものに係るその事業年	
度の収益の額とする。	



〈TAC〉無断複写・複製を禁じます（税 23）

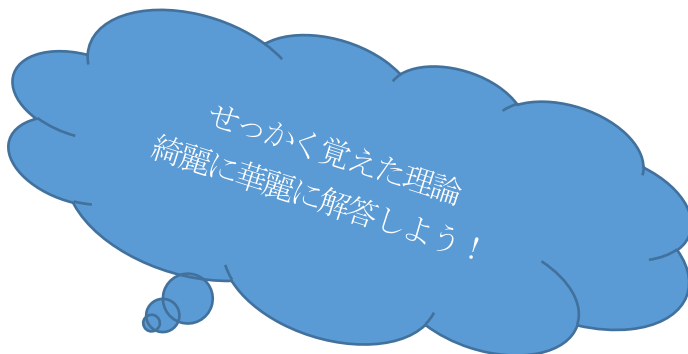
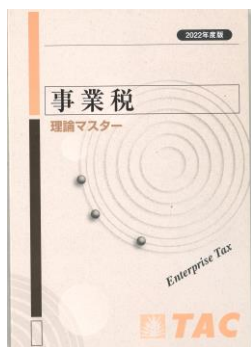
（良くない例） 大きすぎる、又は小さすぎる。さらにタイトルや改行がない

益金
内国法人の各事業年度の所得の金額の計算上その事業年度の損金の額に算入すべき金額は、別段の定めのあるものを除き、資産の販売、

有償又は無償による資産の譲渡又は提供、無償による資産の譲渡その他の取引で資本等取引以外のものに係るその事業年度の収益の額とする。

（良くない例） 強いクセ字

内国法人の各事業年度の所得の金額の計算上その事業年度の損金の額に算入すべき金額は、別段の定めのあるものを除き、資産の販売、有償又は無償による資産の譲渡又は提供、無償による資産の譲渡その他の取引で資本等取引以外のものに係るその事業年度の収益の額とする。



8 終わりに

いかがでしたでしょうか。

本セミナーをきっかけに、少しでも「暗記を頑張ろう！」という気持ちが増したのであれば幸いです。

さすがに、理論暗記自体を代わることはできませんので、ここからは皆さんの努力次第です。苦しいかもしれません。

これをきっかけに楽しいと感じるかもしれません。

でも、どんなに苦しくても、最後に皆さんを支えるのは、皆さんが目指すものへの思いです。

「合格して税理士になるゾ！」という気持ち、これが皆さんを支えます。

努力は人を裏切りません。

合格を目指して、ぜひ、頑張ってください！！

